

(2) 令和4年度以降の予測

1. 児童人口の推計

年齢	計画			予測			差		
	R4年	R5年	R6年	R4年	R5年	R6年	R4年	R5年	R6年
	2022年	2023年	2024年	2022年	2023年	2024年	2022年	2023年	2024年
0歳児	265	261	258	278	277	275	13	16	17
1歳児	276	273	269	300	289	288	24	16	19
2歳児	279	276	274	320	320	308	41	44	34
3歳児	277	287	283	295	325	326	18	38	43
4歳児	328	285	294	352	312	344	24	27	50
5歳児	285	328	285	319	357	318	34	29	33
6歳児	356	286	329	375	322	359	19	36	30
7歳児	379	364	292	389	375	322	10	11	30
8歳児	410	380	365	420	389	375	10	9	10
9歳児	340	414	383	347	420	389	7	6	6
10歳児	352	342	416	358	347	420	6	5	4
11歳児	389	360	350	393	358	347	4	-2	-3
計	3,936	3,856	3,798	4,146	4,091	4,071	210	235	273

令和3年度の実数を基に令和4年度～令和6年度の児童人口を予測した。

予測にあたっては、今後整備が予定されている分譲地や益城台地西地区の区画整理事業施工区域の供用開始による人口増分を加味することとし、過去に建設された分譲地での転入人口の平均割合から年齢ごとに増加率を算出し、前年度の児童人口に乗じて積算した。

令和3年度までの人口同様、計画の児童人口よりも多い水準となり、未就学児の人口が大きく増加するという予測結果となった。

【条件1】0～5歳児の社会増予測

R1,R2,R3の「指定区別年齢別人口調」の実績から過去2年間の0～5歳児の伸び率（社会増）を算出。

⇒今後も同じ伸び率で推移すると仮定してシミュレーションを実施する。

例) 2019年の0歳児…262人、2020年の1歳児…271人だった場合、伸び率は $271/262 * 100 = 1.03$

【条件2】出生数の推移予測（R4以降～）

社人研補正における年少人口（0歳～14歳）推計[人口ビジョンP35]によると、年少人口（0～14歳の15学年）が5,207人（2020年）～4,991人（2030年）と10年間で216人減少すると予測されている。

これを踏まえ、10年後には1学年あたり216人/15≒15人減少、1年あたり1.5人減少すると予測できる。

したがって、R4の出生数はR1～R3の平均値である277.6人から1.5人を差し引いた276人とし、併せて、転入による増加を2人と予測し、R4の0歳児を278人と見込む。R5以降は1.5人ずつ減少（2年に3人減少）すると仮定する。

2. 教育・保育の量の見込みと提供状況

令和4年度		幼稚園	保育所			
		1号	2号	3号		2・3号 計
				0歳	1、2歳	
計 画	① 量の見込み	294	624	124	401	1,149
	② 確保方策	383	699	140	433	1,272
	②-①	89	75	16	32	123
実 数	ア 利用者数	110	676	3	346	1,025
	イ 一斉申込数	37	50	160	118	328
	ウ 他申込数	3	10	20	10	40
	ア + イ + ウ	150	736	183	474	1,393
	①との差	144	-112	-59	-73	-244
	②との差	233	-37	-43	-41	-121

令和3年11月9日から12月10日までに実施した令和4年度認可保育所等一斉申込の件数、令和3年12月17日時点のあじさい保育幼稚園への幼稚園利用申込件数及び令和3年12月14日から17日までに実施した令和4年度町立幼稚園の申込の件数を現在の利用者数に加算し、計画と比較を行った。また、一斉申込後の申し込み件数を他申込数として、実績から予測をした。

比較した結果、幼稚園の利用者数は大きく減少し、代わりに保育所の利用者数が大きく増加する結果となった。

②確保方策と比べたところ、保育所の受け入れ人数が121人も不足する結果となった。また、0歳児から2歳児までの3号の受け皿が大きく不足する結果となり、令和4年度当初において保留児童が発生する可能性が非常に高く、確保方策の見直しを早急に行わなければならない状況である。

【令和5年度以降の申し込み予測】

予測	人口予測		保育所申込予測		②確保方策	差	
	R5年度	R6年度	R5年度	R6年度		R5年度	R6年度
0歳児	277	275	184	183	140	-44	-43
1歳児	289	288	481	471	433	-48	-38
2歳児	320	308					
3歳児	325	326	746	741	699	-47	-42
4歳児	312	344					
5歳児	357	318					
計	1,880	1,859	1,411	1,395	1,272	-139	-123

推計人口に令和4年度の申込率を乗じて算定した。

現在の確保方策数では、不足することが予測され、特に0歳～2歳児の確保方策の見直しが急務となっている。

3. 放課後児童健全育成事業（放課後児童クラブ）

放課後児童健全育成事業（放課後児童クラブ）

令和3年11月以降に各クラブが実施した令和4年度仮利用申込の件数をもとに計画との比較を行いました。

比較した結果、1年生と3年生は計画を下回り、4年生及び6年生は計画を上回る結果となりました。全体としては計画を下回っていますが、中には利用希望者が多かったため、希望者全員の申込受付ができなかったクラブもあります。

今後整備が予定されている分譲地や益城台地西地区の区画整理事業施工区域の供用が開始されると、小学校児童数の増加が見込まれます。それに伴い放課後児童クラブ利用児童数の増加も見込まれるため、利用児童の確保方策の見直しを早急に行わなければならない状況となっています。

【令和4年度利用 仮申込状況（通常+長期）】

クラブ名		定員	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
広安西小	ひまわり	65	20	24	15	1	0	0	60
	たんぼぼ	45	14	15	15	1	0	0	45
	すずらん	40	15	12	12	3	0	0	42
広安小	あすなろ	70	32	25	10	8	7	1	83
	さくらんぼ	42	11	14	11	6	2	3	47
	おひさま	40	12	15	13	8	2	2	52
中央小		70	26	23	12	0	0	0	61
飯野小		49	21	19	9	0	0	0	49
津森小		32	6	8	0	2	1	0	17
合計（申込数）		453	157	155	97	29	12	6	456
合計（計画）			181	147	145	20	14	1	508